



住民自治協議会 その役割とは…

第三地区住民自治協議会の取組み

インタビュー／長野市ボランティアセンター 飯島 哲

長野市には32地区ありますが、地区によって課題は様々。課題に対する向き合い方も32通りです。住自協は何ができるのか、どのような役割を求められているのか。第三地区の取組みから、改めて住自協の役割について考えてみました。



中央／湯本泉住民自治協議会長
右手前／浅倉信事務局長
左／河西映子福祉ワーカー

各町の祭りをつないだ
スタンプリ

飯島 スタンプリを活用した興味深い取組みをされているそうですね。

湯本 福祉のことはよくわからないし、自助互助とかいう言葉もよくわからない。わからないなりに、何か楽しくなることをやろうじゃないかと…。私は、みんなに「外に出よう」といつも言っているんです。

第三地区は12の町で構成されていて、それぞれの町が長野駅開業の頃に第三地区として成り立ってきました。各町に神社があり、町ごとにお祭りや活動はやっているけど、第三地区としてのつながりは希薄というのが現状だったんです。

まちづくり計画と
地域福祉活動計画

飯島 なぜ町同士の交流が必要と
考えられたのでしょうか。

浅倉 話は少しさかのぼりますが、
第二地区では独自のまちづくり計画
と、地域福祉活動計画(※)を一体的
に作成しています。その計画の段階
で住民のみなさんに参画していただ
き、どのようなまちにしたいかとい
うワークショップを行いました。

飯島 具体的にはどのような方が
集まりましたか？

浅倉 過去のことを知っている方や、育
成会経験者など様々です。

ワークショップでは人と人のつきあひ
が希薄になっているなどの課題が上がっ
てきました。また、アンケート結果では、
住自協の認知度が10%と非常に低いこと
が分かってきました。

とにかく、
みんな外に出よう！

飯島 計画の策定時に、地区の目指す像
を作り始めたんですね。人と人とのつな
がりの希薄化という課題に対して、具体
的に取り組んできたことはありますか。

※各地区における課題解決に向け、住民自
治協議会が中心となり策定する計画



みんながネットワーク

このかわらばんは「信毎ふれあいネット」のご好意で
一部の地域へボランティアで配布していただいています。

「ボランティアかわらばん」は共同募金のご協力で発行しています。

表紙題字：青木孝子さん



盛り上がる”わくわくスタンプラリー”の様子

浅倉 第三地区の特徴かもしれません。各町の住民の意識はあっても、第三地区という単位を意識している住民が少ないのかな。町単位では交流があっても、町を超えた交流がないことを解消できればと思います。

湯本 とにかく、いろいろな言わないで、みんな外に出ようよ。今まで会うことなかった人との交流が、何かを生み出すのではという思いがありました。町単位で成立しているコミュニティが人口減少等で難しくなっているの、広い単位で考えていくような発想ですね。

子どもの参加を第一に

飯島 交流を進めるに当たって、具体的にどのような取組みをされたのでしょうか。

湯本 子どもが動けば、その親や祖父も動く。子どもの参加を第一に考えました。

浅倉 子どもが地域参加するには「楽しい」ことが大切。各町で実施しているお祭りをスタンプラリーで巡るのはどうかな。そうして、景品も用意しました。

2年で延べ2000人の参加者に

飯島 実際の感触はどうでしたか。

浅倉 私たちが想定する以上に参加がありました。一年目は延べ1700人が集まり、全てのお祭りを巡ったパーフェクトが55名。2年目は延べ2000人、パーフェクトが90名と増えています。

湯本 地区のお店に協力いただき、景品を用意してましたが、足りなくなっちゃってね。

浅倉 私たちの想像以上に参加があり、正直びっくりしました。

飯島 実際にこれだけのイベントを運営するのは大変でしたね。

浅倉 スタンプラリーの企画は3年前

に提案したのですが、誰がやるのか、お金はどうするのか? といった意見が多く、実現できなかった経過があります。

飯島 いろいろ乗り越えて実現に至ったんですね。

浅倉 いろいろな要素がありますが、事業を行った後、振り返りをしっかりとすることを心がけました。実績だけではなく良かった点、悪かった点を分かったりやすく一枚のA4用紙にまとめました。

広報にも力を入れました。河西ワーカーが各町へ情報収集に行き、課題を把握したり、人と人のつながりを作ったり。たくさん働きかけをしてきました。

育成会とはなかなか接点なかったのですが、ワーカーの関わりの中から、育成会にも悩みがあることが分かってきました。一年単位で役員が替わっていく、乳幼児の親子との関係性が持てない、小学校を卒業すると離れていってしまうなど、悩みを共有できたことは大きかったと思います。

河西 子育てサロンをイーストプラザでやっているのもプラスになったと思います。



世代間交流にもなった...!?

湯本 ホタルっていつでも、20匹くらいで見に来る人の方が多いです。

浅倉 広報も今風のものを取り入れて、えっと、なんだっけ携帯の...。

河西 ブログですね。(笑)

浅倉 外に出て関係性を築き、お互いの団体の状況や活動を共有していく中で、改めてスタンプラリーの計画を提案しました。

お祭り支える「武睦会」

湯本 お祭り好きの人がいて、第三地区内外のお祭りを手伝っている人が「武睦会(たけむつかい)」という団体を立ち上げ、人手が少ないお祭りを支えている。お祭りを守っていききたいといった雰囲気もあつたしね。

小学校とのつながり

浅倉 他にも、鍋屋田小学校でホタルを観るイベントを学校に提案したら、200人以上参加して、それがきっかけで学校ともつながるようになりました。今では行事への参加や、防災訓練を地区と一緒にやるのかといった話も出てきています。

飯鷲 反応はどうでしたか。
浅倉 市の助成金を受けることも追い風になって、開催の方向で話しが上手く進んでいきました。

3年かけて実現した 活気ある楽しいお祭り♪

飯鷲 実際に地域に出て、時間をかけて関係性をづくり上げたことで花開いたんですね。

浅倉 今まで距離を感じていた育成会も積極的に関わってくれて、一緒にまちをつくらうという雰囲気できてきたように感じています。

飯鷲 3年かけて実現したわけですが、どのように変わりましたか。

浅倉 今まで各町のお祭りは、その町の住民でないと参加できないような雰囲気でしたが、今回の企画で町以外からの人が集まり、その結果どの町のお祭りも活気ある楽しいものになったと聞いています。

湯本 「外に出て交流しよう。」といったことが実現したわけです。今まで交流がなかった地区同士や個人・家族が交流することによって、また新しい動きが実現するかもしれない。

浅倉 お祭りに参加する子どもたちの様子からも発見がありました。子ども同士の交流には、町という壁はないんですよ。育成会や通う学校を越えて、

交流の幅も広いことに気付かされました。

河西 お祭りをきっかけに、中学校の合唱団が大会以外で発表の場がないということも知り、お祭りで披露してもらいました。医療生協さんが中心でやっているオレンジカフェもオープンカフェにしてもらいました。

様々な団体、個人が無理なく、楽しくお祭りを行うことができたことが良かったと思います。

まちが一体となり 通学区の変更が実現

浅倉 他にも発見があつてね。子どもたちの行動範囲が、学区とマッチしていなかったんですよ。だから通学区を変更してもらえるように、第二地区区長全員の連名で教育委員会にお願いすることになりました。結果として通学区の変更が実現しました。これは、まちが一体となり、住民自治協議会を通して、声を上げられたことで効果があったのかもしれないね。

湯本 思いがけない成果を生み出したのは、人と人の交流。外に出よう。これに尽きると思います。

浅倉 住民のみならずも楽しんでほしい、それが結果として住民参加の地域づくりにつながってきているのかなあと思います。

活動継続の源は 「楽しい!!」こと

飯鷲 これぞ「住民自治」の役割ですね。ところで、他にも様々な活動があると思いますが大変ですよ。

浅倉 第二地区は福祉推進員の活動が盛んなので、福祉推進員のみならず本当にいろいろな協力をしてくださる。それに尽きます。

河西 活動はやっぱ大変な面がありますが、活動後の達成感をみんなで見ていることが、活動の継続の源にならないと思います。担い手が楽しくないと続かない。担い手のみなさんも、自分たちで楽しいと思えることを計画しているようです。

交流を生かした 新たな取組み

飯鷲 今後の取組みを、教えてください。

浅倉 学校では年2回の避難訓練を行っています。地域のみならず、災害を想定した防災訓練をやりたいというアイデアもあるんです。



たくさん子どもたちが参加したお祭り

住民アンケートで、生活上の課題などを調査した結果「防災」がトップでした。それを踏まえて、町ごとに防災士の設置をし、第二地区と鍋屋田小学校

とで、合同防災訓練の実施を計画しています。近隣のみならずの防災についても、防災士を軸として、隣近所と顔の見える関係づくりを目指しています。災害時要援護者を含め、人と人の交流を軸に地域力を高めたいです。

飯鷲 防災を難しく捉えず、今のままの雰囲気であれば、子どもが高齢者の家に遊びに行き、近くにどんな人が住んでいるのか自然にわかる。それがごく普通の日常となるかもしれませんね。

みんなできつくる 自分のまち

湯本 お祭りに参加するだけでも楽しいですが、役割があると主体的な取組みになって、達成感を感じることもできる。住民それぞれに役割があると楽しいですよ。

飯鷲 まちづくり計画を作ったままにしないで、しっかりと機能させていく。それによって、計画に掲げられた目標や理念に共感する方が、徐々に増えている。そんな感触です。

湯本 キャッチフレーズは「第三地区をひとつの輪に、みんなできつくる自分のまち」。これに尽きるよね。

ボランティア情報

参加費 無料(大学生以上の付き添いの方観覧料が必要)
 申込 定員に達し次第受付終了
 問 長野県信濃美術館
 TEL 026-232-0052/FAX 026-232-0050
 メール npsam@npsam.com

■ワールド スタディ カフェ2019 「ご縁は1日にしてならず ~今日の生き方が未来を決める」

国際交流に関心がある人のための学びの場で、飯山市に住み作家の活動をしながらインド工科大学の客員准教授でもある山田真美氏を迎えて講演し交流カフェもします。
 日時 3月9日(土)13:30~17:00
 場所 アイビースクエア3階Gルーム
 問 長野県IYE0(山岸)
 TEL 090-3339-9807

■ブラジルの文化と歴史の話&コーヒー交流会

ブラジル人留学生によるブラジルの文化、歴史、子どもの教育事情等についての英語の講演です(通訳付)。ブラジルコーヒーを飲みながらの交流会もあります。
 日時 3月17日(日)14:00~16:00
 場所 長野市もんぜんぶら座3階304会議室
 講師 Yuri Marca(ユリ マルカ)
 参加費 予約の方500円 当日700円(ブラジルコーヒー付)
 問 小田切国際交流クラブ(中込)
 TEL 090-7173-2838(SMSも可)

講座

■「うたうヨーガ」でこころも体も健康に

うたうヨガとはメロディーにのせて歌を歌うことで、体と心の疲れ、ストレスを取り、健康な体をつくろう!というものです。一緒に楽しくやってみませんか。
 日時 3月8日(金)、13日(水)、22日(金)、26日(火)
 15:00~16:20
 場所 長野市ふれあい福祉センター4階和室
 問 ゴウランガ(ラピナオレシヤ)
 TEL 080-1277-6161



いつも傾聴でんわ

哀しかった・辛いな・嬉しいことがあった…
 どんなことでもお話しください。

お電話
 待ってます

TEL 026-225-0404

月・土 14:00~18:00 水 14:00~21:00



インターネット放送局「ながのTV」の生放送番組
長野ボランティアステーション
 (毎月第2火曜日19時~)

3月12日(火)の出演は
 「NPO法人子ども人権・エンパワメントCAPながの」です
 YouTubeにて「ながのTV」で検索

★出演者大募集中★



長野市ボランティアセンターへ
 ご寄付ありがとうございました!

ハガキ、切手、テレフォンカード、ベルマーク等
 (1月16日~2月15日分)

松下信彦 小林千鶴子 徳竹孝幸 サークル「北信五岳」
 長野篠ノ井ライオンズクラブ 瀧澤行政書士事務所 トヤジ
 ムキ シーデーシー情報システム シニア大長野学部 大岡
 地区住民自治協議会 長野中央郵便局 長野南郵便局 長野
 市(消防局総務課/新町消防署/市民窓口課/市民税課/健康課)
 匿名24名(敬称略)

カレンダー等(企業から)

ヤクルト 鹿島建物総合管理 第一企画(株)まいぶれ長野
 (株)ケアネット コメワーク長野 甲信アルプスホーム
 (株)富士通エフサス 積水ハウス(株)長野カスタマーズセンター
 富士通(株) 長石(株) (株)湯本建築設計 (株)TOSYS 長野都市ガス
 大和PIパートナーズ(株)経営企画部 DIRインフォメーションシ
 ステムズ(株)業務部 (株)大和総研リサーチ業務部 (株)大和総研
 ビジネス・イノベーション(システムコンサルティング本部/
 社会保険システムソリューション部) 大和証券(株)(プライベート
 バンキング部/本社総務部/業務部/中野支店/池袋西口支店/
 松江支店/吉祥寺支店/難波支店/名古屋支店/釧路支店/ライブ
 プランビジネス部)

どなたでも
 “ふらっと”
 参加できます



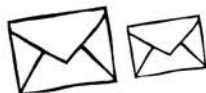
長野市ボランティアセンターで開催する ちょこっとボランティアの場です

問:長野市ボランティアセンター TEL:026-227-3707

♪エコ封筒を作ろう

古いカレンダーを再利用して
 封筒を作ります。年齢・性別を問わず、ご参加いただけ
 ます。

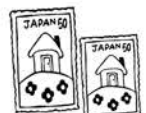
3月 5日(火)10:00~11:30
 4月 9日(火)10:00~11:30



♪切手の小箱サロン

チーズやお菓子の空き箱に古切手を貼ってステキな小
 箱を作ります。のんびりゆっくり、おしゃべりしながら、
 楽しい時間を過ごしましょう。

3月 8日(金)13:30~16:00
 4月12日(金)13:30~16:00



ボランティア情報

募集

■寄り添ってくれる方募集

自閉症スペクトラムという特質を持つ女性ですが、週1・2回1時間位供に過ごして頂けませんか。活動内容は四季に応じて散歩や遊びなど。

問 長野市ボランティアセンター(小林)

TEL 026-227-3707

お知らせ

■無料学習サポート きずなじゅく

教えるのは元教員、学生などのボランティア。一人の子に一人のサポーターがつき、ていねいに教えます。おしゃべりもOK。友達やサポーターと楽しく過ごします。

日時 3月8日、15日、22日(金)17:30~19:30

場所 長野中央介護センターつるが1階多目的室

問 反貧困ネット長野(小野)

TEL 070-6988-2771(月~金 9:00~17:00)

■月例情報市場

毎月第3水曜日ふれあい福祉センターで16時から17時に開催。新鮮な情報等を共有することで新しい出会いが生まれます。シナリオのないストーリーの始まりです。

日時 毎月第3水曜日 16:00~17:00

場所 長野市ふれあい福祉センター

問 ながのボランティア・市民活動支援ネットワーク(青沼)/TEL 026-229-8001(ライフデザインセンター内)

■平成30年度長野県信濃美術館移動展

所蔵作品の中から、信州ゆかりの芸術家の作品や信州を描いた作品を中心とし展示いたします。

日時 3月9日(土)~17日(日)

場所 ホクト文化ホール(長野市若里1-1-3)

問 長野県信濃美術館/TEL 026-232-0052

■無料なんでも相談会

どんなことでも、ご相談下さい。秘密はお守りします。相談員が対応し各種制度の紹介もします。看護師による健康チェックや、昼食交流会も行います。

日時 3月6日(水)10:00~13:00

場所 長野市中央隣保館/問 反貧困ネット長野(小野)

TEL 070-6988-2771(月~金 9:00~17:00)

■書きためた日記の終活術講習会

書きためた日記帳。捨てるか? 残すか? 迷っていませんか…。日記は何代にもわたる家族の歴史が詰まっています。年表やニュースにまとめ家族史を作りましょう!

日時 3月24日(日)10:00~12:00

場所 長野市権堂イーストプラザ市民交流センター

参加費 500円/問 自分史を綴り語り継ぐ会(細川)

TEL 026-237-9393/携帯 090-8774-2102

■無料学習ふうえば

月に3回、日曜日の無料学習会。午前は中高生レベルの学習相談・指導。自習にも最適。午後は大人も加わっての英語時事と推理。ぜひ一度お越しください。

日時 3月10日、17日、24日(日)10:00~15:00

場所 もんぜんぶら座会議室

問 NPO法人ふうえば(鈴木)/TEL 090-2208-9030

■実用書道教室入会募集

小筆字で和文書道を学習する。漢字の楷書・行書・草書・かな等を着実に習練し、最後は連綿の和文(和歌、俳句、名文、詩、各種手紙類)を書けるようになることが目標。

日時 毎月第2・4週(金)(土)(日)午前10:00~12:00

場所 長野市ふれあい福祉センター

講師 日野鉄二/申込締切 3月25日(月)

問 実用書道(美しい和文書道の会)教室(日野)

TEL 026-233-2259

イベント

■「大震災から8年~現地に学び そしてつながる交流会」

~陸前高田市・大槌町の皆さんと語ろう~

自然災害を他人事と思えない今、東日本大震災体験者から直に学びそして一緒に語り、直後から現地に続き続けた交流の種・芽を更に多く、たく育てたい。

日時 3月9日(土)13:00~(12:30開場)

場所 長野市勤労者女性会館「しなのき」

講師 佐々木美代子、佐藤慧、菅野安納 臺隆明

高木正基/参加費 500円(大人)

問 被災地オテガミプロジェクト(久保田)

TEL 090-2455-5677

■東日本大震災から8年復興支援物産品販売所

「しなのき」で開催する上記交流会と同時開催。

陸前高田市の海産物等を材料とした特産物の販売所を開設します。わかめ、おやき、椿茶、かんづき、米崎りんご等。

日時 3月9日(土)10:00~16:30

場所 長野市権堂イーストプラザ市民交流センター1階

問 被災地オテガミプロジェクト(番場)

TEL 090-9847-5421

■アートゲームであそぼう! つくろう!

県内の美術館や博物館のコレクションから選ばれた、ベスト100の作品カードを使って遊びながら、アートに触れる子ども向けワークショップです。

日時 3月9日(土)10:00~11:00

場所 ホクト文化ホール(長野県県民文化会館)

対象 小学生以上/定員 20名

ボランティア情報



4月号は3月28日(木)発行予定。情報掲載希望は3月14日(木)までにお問合せください。〈TEL 026-227-3707〉

ボランティア活動をしている方、始める方に…

2019年度 ボランティア活動保険 受付スタート!!

ボランティア活動中のさまざまな事故に対する備えとして、ケガや損害賠償責任を補償します。

補償期間 2019年4月1日～2020年3月31日

手続き開始 3月1日(金)

受付施設

- 長野市ボランティアセンター
- かがやきひろば
(三陽、安茂里、氷鉦、鬼無里、中条)
- 信州新町福祉センター



2019年度 「いつも傾聴でんわ」 受け手ボランティア 養成講座



「誰かと話したくなかった・・・」という方の話を電話でお聴きする「いつも傾聴でんわ」。電話を受けていただくボランティアを養成する講座です。

- 日時 5月25日、6月1日、15日 いずれも土曜日
13:00～16:00 (全3回)
- 会場 長野市ふれあい福祉センター
- 受講料 1,500円
- その他 養成講座修了後に専門研修があります
(7月～12月、全6回)

◆◆◆ 問い合わせ・申し込み ◆◆◆

長野市ボランティアセンター TEL 026-227-3707 FAX 026-224-1513

お知らせ

■猫の譲渡会と猫グッズの販売会

エントリーしているネコは各団体の一時預かりさんと一般の方々が連れてきます。ペットショップへ行く前にぜひ遊びに来て下さい。すてきな出会いがきっとあります。

日時 3月24日(日)13:30～15:30

場所 長野市ふれあい福祉センター5階ホール

問 こちら肉球クラブ(千葉)

TEL 090-8515-9259

■保護猫の譲渡会

来場予約不要(猫を参加させたい方は要予約)どなたでもお気軽にお越し下さい。会場で保護猫を直接見て面談し譲渡決定後、後日自宅までお届けにまいります。

日時 3月10日(日)12:00～14:00

場所 JAグリーン長野川柳支所前
(長野市篠ノ井二ツ柳654)

問 ながの鈴ねこの会(後藤) / TEL 080-4166-2690

■“春が来た”交流会へ集合!!

暑さ寒さも彼岸まで。平成最後となる弥生月。平成を振り返りつつ新年度の予定を話し合いながら交流しましょう。初めての方大歓迎です。(調理有り)

日時 3月21日(木・祝日)11:00～

場所 長野市ふれあい福祉センター4階

対象 精神障がいに関心のある方

参加費 400円

申込締切 3月15日(金)

問 精神保健福祉ボランティア ホワイトナッツ(本田)

TEL 026-226-8740

ボランティアセンターへの相談

(1月1日～1月31日)

★ボランティアしたい…22件

★ボランティア求む…15件

「ボランティアかわらばん」音声でも楽しめます

視覚障がい者への朗読ボランティアグループ「やまびこ会」による音読版「ボランティアかわらばん」をインターネットに公開しています。ホームページ「ボランティアネットながの」でお聞きいただけます。

<http://www.vnetnagano.or.jp/kawaraban/onyaku.htm>

